

ROSA エlement マネージャ ライセンス オプションを理解して下さい

目次

[概要](#)

概要

この資料は ROSA エlement マネージャ (EM) で利用可能な ライセンス オプションを説明したものです。

ROSA エlement マネージャ (ローザ EM) はプラントおよびトランスミッタ サイトの外部のビデオ ヘッドエンド、ハブサイトおよび Hybrid Fiber Coaxial (HFC) の転送ネットワークをモニタおよび制御するのに使用されるデバイスです。ローザ EM デバイスが常駐するサイトでこの機器に SNMP、シリアル (RS-232/422/485)、またはメーク接点 インターフェイスがあるかどうか、同じ場所に配置されるデバイスは機器を管理します。

ローザ EM の機能は制御されるライセンスです。

この資料はファームウェアのバージョン 04.04.00 が付いているローザ EM デバイスにまたはより高い適用します。

Kumar Sridhar によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

ライセンス オプションおよび使用方法の説明

ROSA エlement マネージャの認可モデルに次のライセンス オプションがあります:

LROSA-E-STD -これがローザ EM のオペレーションに必要なほとんどの基本的なライセンスです。それはデバイスのモニタリングのために、ない監視されているデバイスの冗長性制御にだけ有効ですが。しかし少くとも、このライセンスは操作すべきローザ EM のための絶対必要です。

LROSA-E-STD2RED -これはプライマリデバイスが正常な、バックアップ デバイスが壊れるとき切替サービスのような冗長性 オペレーションをバックアップ デバイスにプライマリデバイス失敗の場合に行い、プライマリデバイスにサービスを再開することをローザ EM が可能にするライセンス 機能です。

LROSA-E-DCL-CT -ローザ EM によって 監察することができるデバイスの数は制御されるライセンスです。これは「デバイス数ライセンス」と呼ばれます。この特定のライセンスは 1 つのデバイスのモニタリングを有効に します。利用可能なこのライセンスの数量は監視することができるデバイスの数を 判別します。

LROSA-E-DCL-CT50 -デバイス数ライセンスはまた 50、250 か 500 のブロックで購入することができます。この 1 つは 50 のデバイス ブロック数の例です。

LROSA-E-RED-CT -これは冗長性 オペレーションのためのデバイス数ライセンス、すなわち、ローザ EM によって冗長性のために制御されますデバイスの数です。

LROSA-E-RED-CT50 -DCL ライセンスに類似した、冗長性数ライセンスはまたブロックで発注することができます。利用可能なブロックは 50、250、500 及び 1000 です。カウントの 制約 冗長性のために制御されますデバイスの数。

LROSA-E-ACT-V4X -ソフトウェア V4 のためのローザ EM を有効にするためにこの機能が必要となります。有効になるこの機能なしでローザ EM は V4 の下のバージョンとしか使用することができません。

LROSA-E-FEAT-04XX -このライセンスがソフトウェアの特定のバージョンで利用可能である機能を利用するために必要となります。たとえば、導入された特定の機能は、ライセンスに機能 LROSA-E-FEAT-0408 がある場合だけ V04.08 を、使用することができます言います。

ローザ EM ライセンスの例は下記にあります:

{ License file for ROSAEM

; Created at 15-Jan-2014 by CISCO

; Identification: ROSA EM Serial number

; Comment:

; CISCO

```
FEATURE COUNT500 ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 2DA17A055A7D41971C15656AA50430C0 "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
FEATURE EM_BASE_04_00 ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 26E940CE478B24A317E92313B32693BA "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
FEATURE EM_FEATURE_04_06 ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 3BAC4C01F707B7A9445D062395518620 "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
FEATURE EM_STD2RED ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 07670C3B40845A00B5AD3D0A9CEA0B71 "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
FEATURE EM_STD_SYS ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 34BC2B9507F1ECFD26525F3323DE2467 "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
FEATURE RED_COUNT_500 ROSAEM 00.000 00-000-0000 0 B1C932995AFBA5B3119555747D21ACBD "" HOSTID=ROSA EM Serial Numer
```

上に表示されるライセンス ファイルではライセンスの 6 つの行が、後で説明される各行あります:

- 最初の行は最大 500 のデバイスまで監察するためにローザ EM に資格を与えます。
- 第 2 行はアップグレードされた V04 であることをローザ EM が以上に可能にします。このライセンスなしで、ローザ EM は V4 の下でバージョンでしかはたらくことができません
- 第 3 行は動作するソフトウェアのバージョンに特定で、この例で、V04.06 まで利用可能の機能を有効に します。
- 第 4 行はローザ EM にデバイスの冗長性 コントローラとして使用されるために資格を与えます
- 第 5 行がローザ EM オペレーションに必要なほとんどの基本的なライセンスです
- そして第 6 行は冗長性 オペレーションのためのデバイス数ライセンスです。この例では、500 のデバイスは冗長性のために制御されます。動作することができるように少くとも、ローザ EM は機能 EM_STD_SYS が要求します。このオプションを選択しないでローザ EM ライセンスのための設定商業ワークスペースを on Cisco 作成することを試みる場合下記のピクチャに示すように警告を得ます。

Warning if LROSA-E-STD is not selected: Please check if you already have the STD package. (CE200744)

ROSA-LIC-EM-UPG > **EM Feature Pack Licenses**

Show: EM Feature Pack Licenses

	SKU	Description	Quantity	Estimated Lead Time (days)	Unit List Price
<input type="checkbox"/>	LROSA-E-STD	ROSA EM License: Standard Functionality (no Backup support)	<input type="text" value="1"/>		
<input checked="" type="checkbox"/>	LROSA-E-STD2RED	ROSA EM License Upgrade: Support of Redundancy Control	<input type="text" value="1"/>		